

# 学園だより

宮城県立支援学校岩沼高等学園

電話 0223-25-5332

FAX 0223-25-5333

宮城県岩沼市北長谷字豊田 1-1

<http://iwanuma.myswan.ne.jp>

平成28年5月27日発行

平成28年度の生徒数 1学年38名 2学年45名 3学年47名

川崎キャンパス1学年4名

教職員数 教員 55名 寄宿舎指導員12名

## 「川崎キャンパス開校」

校長 高橋 時明

この春の人事異動により四月一日付けで着任いたしました。どうぞよろしくお願ひいたします。緑に囲まれた彩り豊かなここ岩沼の地で、新年度がスタートして早くも二ヶ月が経とうとしております。入学時緊張していた一年生にも笑顔が見え始め、学校全体が活気に満ち溢れてきました。

さて、本学園は、平成十三年に創立され、今年で十六年目を迎えます。今年度は、柴田農林高校川崎校の校舎に、本学園の分校『川崎キャンパス』が併設され、障害の有無によらず共に学ぶ教育環境づくりを推進していくことになりました。これまで本学園が十五年の歴史の中で築き上げてきたことを、川崎キャンパスにも継承し、両校とも「社会参加と職業的自立を目指した職業教育をとおして、積極的に社会に参加し、明るく、心豊かに、健康でたくましい生徒」を育てていきたいと考えております。今後ともご理解とご支援を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

## 「充実した3年間を」

1学年主任 佐藤 篤

平成28年4月11日、校庭の桜が満開のグットタイミングで入学式を迎えることができました。38名の学園生活がいよいよスタートです。緊張感と期待感の中、ちょっぴり幼い雰囲気のある顔つき。一人ひとりの呼名に対して大きな声で返事をしていました。

初めての寄宿舎生活、初めての専門教科、初めての学校行事、そして新しい友人関係・・・めまぐるしく時間が過ぎていきました。5月の連休でちょっと一息。今は6月から始まる初めての職場実習に思いを寄せています。

岩沼高等学園に入ったからには、立派に成長し、卒業後は社会参加と職業的自立ができるようになってほしいと願うのは保護者の皆様も我々も全く同じです。今後、一人ひとりを理解し本人にあった手立てで様々な学習活動を進めていきたいと考えています。

3年間は本当にあっという間です。入学して良かったと心から思えるよう毎日、充実した学園生活を送ってほしいと思っています。



## 「ともにチャレンジ」

2学年主任 渡邊香苗

15期生45名のスタート！

40名は一年間の寄宿舎生活を終え自宅からの通学になりました。早い生徒では自宅を出るのが六時、帰宅も八時近くと生活リズムを作るのが難しそうな様子も見られました。5名の寄宿舎生は手本となる先輩として後輩の指導に張り切って臨んでいます。それぞれが新しいリズムをつかんだ頃、第1回の職場実習に挑戦です。

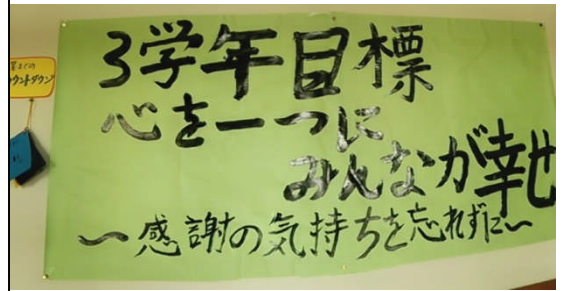
2年生の今年のテーマは「進路選択」と「仲間との成長」。自分が「長く働き続けるため」進路について考え社会人を意識した学校生活を送ってほしいと願っています。一人ひとりの成長が45人の成長に。苦しいことも楽しいこともみんなでも共有しながら、共に支え合った経験が社会人になってからの糧となるようたくさんの方にチャレンジ！して行ってほしいと考えています。



「心を一つに みんなが幸せ」

3 学年主任 米澤由美子

3年生になった最初の日、生徒会役員の3人から提案された学年目標は「心を一つに みんなが幸せ ～感謝の気持ちを忘れずに～」でした。「みんなが幸せ」は、前学年主任の幸造先生がずっと言い続けていた言葉です。この目標のもと3年生になって1ヶ月半。1人ひとりに目を向けてみれば、生徒会役員として活躍している人、部活の中心メンバーとして頑張っている人、委員会活動のまとめ役になっている人、休日中に心和む展示物を作って来てくれる人、集会の度に必ず会場の準備や後片付けをしてくれる人、困っている仲間を自分のことのように心配してくれる人、当番や係の仕事をしっかり行う任せて安心な人、自分の課題を克服しようと100%の力で努力している人、専門教科の授業に黙々とまじめに取り組んでいる人、自分の生き方に葛藤し悩み苦しみながら成長している人、サービス精神満点でひたすらみんなの心を明るくしてくれる人・・・等々47人全員がまさしく主役です。卒業までカウントダウン。心の貯金をたっぷり作りながらキラキラ輝いて過ごしてほしいです！



「ひとつ屋根の下」～寄宿舎での奉仕活動～

指導員 勝又文彦

舎生48名が「ひとつ屋根の下」で、社会自立に向けた『基本的生活習慣』や『コミュニケーション能力』を身に付けるため、日々の生活に取り組んでいます。全舎生で周辺地域の『清掃活動(年14回)』を行っています。また、ボランティアメンバー(8名)が「デイサービスセンターたけくま」様に訪問して、『ボランティア活動(年17回)』の貴重な体験(奉仕活動)をさせてもらっています。



「体力向上の取り組み」

体育科主任 山口 聖



本校では、毎年春にスポーツテストを行っています。就労に向けて体力向上は必須の課題です。種目は、50m走、1500m走、ハンドボール投げ、立ち幅跳び、握力、反復横跳び、上体起こし、長座体前屈です。3年間の記録を見ると、年々記録を伸ばす生徒がほとんどです。総合得点を集計してもやはり3年生が上位にくることが多いです。

また、楽しさや競争心を育てる目的もあり、「継走祭」と称しリレーも行っております。部活対抗、クラス対抗、学年対抗とリレーを行いました。特に学年対抗リレーは盛り上がりました。学年の選抜メンバー2チームが、それぞれレースを行いました。一生懸命に走った後の、喜ぶ姿や悔しがらる姿はとても感動的でした。

学校外へロードワークに行くこともあります。生徒の走る姿を見かけたら、お声掛けをいただくと励みになります。

6月12日(日)	北海道・東北ブロック予選 バレーボール大会(於岩手)
6月21日(火) ～23日(木)	学校見学会
7月22日(金) ～8月24日(水)	夏休み
9月10日(土)	学園祭

本校の教育活動にご理解とご支援、ご協力を賜りありがとうございます。

日々の学校活動でお気づきになられたこと、ご意見ご質問などがございましたら、ご連絡下さい。

教頭 市川 敬行 総務部長 村上 泰己